

JIS

合成ゴム－溶液重合 BR－試験方法

JIS K 6398 : 2017

(JRMA/JSA)

平成 29 年 12 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	東京大学
(委員)	伊 藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
	宇 治 公 隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥 野 麻衣子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	金 丸 淳 子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌 田 実	東京大学
	河 村 真紀子	主婦連合会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	高 田 祥 三	早稲田大学
	高 増 潔	東京大学
	千 葉 光 一	関西学院大学
	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	長 田 三 紀	全国地域婦人団体連絡協議会
	中 村 一	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈 良 広 一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西 江 勇 二	一般財団法人研友社
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
	槇 徹 雄	東京都市大学
	三 谷 泰 久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 9.12.20 改正：平成 29.12.20

官 報 公 示：平成 29.12.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 試験室試料の採取及び試験試料の調製	2
3.1 試験室試料の採取	2
3.2 試験試料の調製	2
4 原料ゴムの物理試験方法及び化学試験方法	2
4.1 ムーニー粘度	2
4.2 揮発分	2
4.3 灰分	2
5 原料ゴムの加硫特性及び引張特性評価のための配合物の調製	3
5.1 標準配合	3
5.2 混練	3
6 混練物の状態調節	9
7 加硫試験機による加硫特性の試験方法	9
7.1 ディスク加硫試験機による加硫試験	9
7.2 ダイ加硫試験機による加硫試験	9
8 引張試験	9
9 試験精度	9
10 試験報告書	10
附属書 A (参考) 試験精度	11
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	16
解 説	18

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ゴム工業会（JRMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 6398:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

合成ゴム—溶液重合 BR—試験方法

Butadiene rubber (BR)—Solution-polymerized types— Evaluation procedures

序文

この規格は、2014年に第6版として発行されたISO 2476を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、油展タイプを含む溶液重合ブタジエンゴム（以下、BRという。）の原料ゴムの物理試験方法及び化学試験方法について規定する。さらに、原料ゴムの加硫特性及び引張特性を評価するための、配合物の調製方法（標準配合及び混練方法）並びに試験方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 2476:2014, Butadiene rubber (BR)—Solution-polymerized types—Evaluation procedures (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 この規格の利用者は、通常の実験室での作業に精通しているものとする。この規格は、この使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置を取らなければならない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 1410 酸化亜鉛

JIS K 3331 工業用硬化油・脂肪酸

JIS K 6220-2 ゴム用配合剤—試験方法—第2部：有機加硫促進剤及び有機加硫剤

注記 対応国際規格：ISO 11235, Rubber compounding ingredients—Sulfenamide accelerators—Test methods

JIS K 6222-1 ゴム用配合剤—硫黄—試験方法

JIS K 6228 ゴム—灰分の定量

注記 対応国際規格：ISO 247, Rubber—Determination of ash

JIS K 6238-1 原料ゴム—揮発分の求め方（定量）—第1部：熱ロール法及びオープン法